

広報

にしあいづ

10

2023

No.780

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！

もくじ - Contents -

P2 特集 令和5年度敬老会 開催

皆さんの長寿と健康を祝う

P4 まちの話題

百歳賀寿、駐日リオアミア大使が来町、野沢祭礼 ほか

奥川敬老会の様子



来年も元気にお会いできることを楽しみにしています

令和5年度敬老会 開催 皆さんの長寿と健康を祝う

9月2日に野沢・尾野本
地区、3日に群岡・新郷地
区、10日に奥川地区の敬老
会が開かれ、長年にわたり
社会や地域の発展に尽くさ
れた皆さんの長寿と健康を
祝いました。

場でも久しぶりに再会した
友人との思い出話に花を咲
かせていました。

9月1日現在、町の
100歳以上の高齢者は20
人で、今年の長寿者番付で
は、女性は渡部タツさん(2
町内)が107歳で横綱と
なり、男性では江川市之助
さん(上野尻)が102歳
で横綱となりました。



喜寿の代表・矢部秀子さん



米寿の代表・五十嵐久子さん

このうち、10日に行われ
た奥川地区の敬老会では、
岩橋義平実行委員長と薄町
長があいさつをした後、喜
寿の代表・矢部秀子さん(中
町)と、米寿の代表・五十
嵐久子さん(中ノ沢)に記
念品を贈りました。



代表で謝辞を述べる猪俣ミヨシさん

来賓祝辞の後、招待者を
代表して猪俣ミヨシさん
(道目)が「町が進める『さ
すけねえ輪』の取り組みを
敬老者のひとりとして大変
心強く感じている。今後は
家庭、そして地域の発展の
ため、社会参加をしながら
人生を楽しんでいきたい」と
謝辞を述べました。



円谷奥川駐在所長による講話

今回は、感染症の拡大予
防として恒例の会食は行い
ませんでしたが、アトラク
ションとして、円谷隆典奥
川駐在所長による講話と西
会津大山さゆり太鼓による
太鼓演奏が行われました。

円谷奥川駐在所長から
は、犯罪に巻き込まれない
ために大切なことについて

敬老会の最後には伊藤哲
雄副実行委員長の発声で、
万歳三唱をし、来年の敬老
会でも出席者全員が元気に
再会することを誓い合いま
した。

西会津の自然を満喫！夏の思い出に 第4回西会津こども研幾塾

8月21日、22日に第4回西会津こども研幾塾が開催され、塾生18人は、上野尻地区の須刈岳登山、奥川の農家民泊を体験しました。

初日は齋藤和則さんのガイドのもと須刈岳登山に挑んだ後、奥川の農家民泊で、笹団子づくりやバーベキュー、花火など、夏のアクティビティを楽しみました。

翌日も天候に恵まれ、川遊びや豚汁づくりなどをして、塾生は2日間の充実した自然体験活動を終えました。



喜多方支部消防操法大会が4年ぶりに開催 町消防団がポンプ車操法の部優勝！

8月20日、喜多方消防本部屋外訓練場において、第6回県消防協会喜多方支部消防操法大会が4年ぶりに開催されました。大会には、各分団から選手を選抜し、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に出場しました。出場した選手の皆さんをはじめ、町消防団一丸となって、本年5月からさゆり公園などで大会に向け厳しい訓練を重ねてきました。当日は訓練の成果を発揮し、両部門とも連携のとれた動きで機敏な操法を披露しました。審査の結果、ポンプ車操法の部で、2度目の優勝を果たしました。

五穀豊穡・商売繁盛を願う 諏方・熊野両神社の祭礼

諏方・熊野両神社の祭礼が9月16日から18日の3日間にわたり行われました。16日の宵祭り
と18日の後祭りには威勢の良い掛け声とお囃子とともに山車が練り歩きました。17日の本祭りでは、「神輿渡御」が行われた後、子ども神輿、本町有志会、四五六会、睦会による大人神輿がそれぞれまちなかに練り出し、野沢のまちなかには4年ぶりに祭りの熱気があふれました。



満100歳おめでとうございます 百歳賀寿贈呈 高橋千代さん

8月20日に満100歳を迎えた高橋千代さん（芝草）の賀寿贈呈式が、8月26日に行われました。

当日は、多くの親族をはじめ、町や老人クラブ連合会などから、高橋さんに賀寿や記念品などが贈られました。

高橋さんの日課は、新聞を読むことで、長生きの秘訣は、周りの人との会話を楽しむことだと話していました。

▲親族や関係者と百歳賀寿を祝った高橋千代さん

そばの里産地交流会 駐日リトアニア大使が来町

8月18日～19日、オーレリウス・ジーカス駐日リトアニア大使、日本リトアニア友好協会の平田美智子事務局長、安藤壽美子理事ほか計5人が来町しました。

薄町長は、大使の表敬訪問を受けた後、リトアニア共和国カズルー・ルーダ市のマンタス・ヴァラシュカ市長を交えて、オンラインによる意見交換を行いました。カズルー・ルーダ市には、萱本そば会の会員の皆さんや町関係者が本年2月に訪問しています。

その後、会場を移し、萱本そば会の主催で「そばの里産地交流会」が開催され、西会津産の打ちたてのそばや野菜、伝統食などが振る舞われました。翌19日、大使一行は萱本の花見山や西会津国際芸術村、道の駅にしあいづなどを視察しました。

西会津町とリトアニア共和国は、西会津国際芸術村にリトアニアのアーティストを招聘したことをきっかけに交流が生まれ、互いにそばの食文化を持つことから、萱本そば会の協力を得て交流を深めています。



▲左からオーレリウス・ジーカス大使、日本リトアニア友好協会の平田事務局長、安藤理事



▲カズルー・ルーダ市の市長らと交えたオンラインによる意見交換（市長は画面右下）

農業の現状やイメージを考える 西高生が農青連と意見交換会を実施



(写真提供：西会津高校)

8月30日に西会津高校で、農業に関する意見交換会が行われました。JA会津よつば青年連盟北地区西会津支部、JA職員から農業の実態、やりがいやスマート農業などについて説明がありました。意見交換会に参加した3年生の7人からは、「農業は天候に左右され、大変なイメージがある」などの意見が出され、あらためて農業や食の大切さを感じたようでした。

第27回沖縄夏季交流

文化の違いを学び、平和について考える

行動経過

- 7月4日(火) 交流団員決定
- 12日(水) 児童保護者説明会
- 25日(火) オンライン事前交流
故郷・学校紹介
自己紹介

◎夏季交流事業

- 7月28日(金) 出発式(役場前)
バス移動↓茨城空港
飛行機移動↓那覇空港
歓迎式・対面式
(大宜味村レジャーセンター)
レクリエーション
(西会津・大宜味×クイズ)
東村つつじエコパーク泊

4年ぶりの開催 オンラインでスタート

健康・長寿の取り組みがきっかけで平成6年から始まった沖縄県大宜味村児童との交流事業は、コロナ禍により3年間開催を見送ってききましたが、本年度は、希望があつた西会津町の小学6年生10名が参加し7月28日から31日までの3泊4日の日程で実施しました。

今回は、大宜味村児童との事前交流として、7月25日にオンラインでふるさと紹介・学校紹介及び自己紹介を行いました。児童たちは2つのグループに分かれて、それぞれに西会津町の魅力や小学校の活動について写真を用いて紹介した後、一人一人自己紹介を行いました。初めて



出会い 大宜味村児童と絆深める

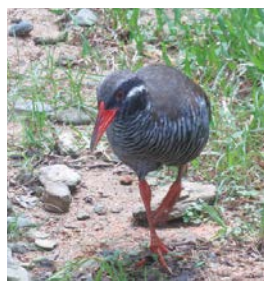
28日町役場前で行われた出発式では、橋本悠さんが「沖縄の文化や歴史について学んできたんです」と抱負を述べました。その後、11時間をかけて大宜味村に到着し、友寄景善村長をはじめ、大宜味村児童や保護者の皆さんの歓迎を受けました。歓迎式と対面式では、



歓迎式で大宜味村の皆さんと記念撮影

町の参加児童を代表し、佐藤友愛さんが「沖縄の自然は西会津町とはどう違うのか。食べ物はどんな物があるのか学びたいです」とあいさつしました。

1日目は大宜味村の隣にある、東村キャンプ施設のバンガローに両町村の児童と引率者全員が宿泊しました。夕食後のレクリエーションではそれぞれの町村について○×クイズを出し合い、盛り上がりました。



ヤンバルクイナの「クー太」

2日目の午前は「生態展示学習施設クイナの森」「ウフギー自然館」の2つの施設を巡り、沖縄本島北部のヤンバル※2地域にのみ生息する固有種「ヤンバルクイナ」や、2021年に世界自然遺産に認定された「ヤンバル」の自然形態について学習しました。

29日(土)

- 生態展示学習施設クイナの森
- ウフギー自然館
- 大宜味小学校見学
- マリントイレ体験(バナナボート体験)
- ダンボールハウス作成
- 大宜味村農村環境改善センター泊

30日(日)

- お別れ式
- (農村環境改善センター)
- 美ら海水族館
- 那覇国際通り散策
- 那覇市内ホテル泊

31日(月)

- 沖縄県南部戦跡めぐり
- 平和祈念公園
- ひめゆりの塔・資料館
- 飛行機移動↓茨城空港
- バス移動↓西会津町役場
- 解団式(役場前)



午後は大宜味村交流団長大宜味小学校平良智校長先生の案内で大宜味小学校を見学し、沖縄県の小中学校で一番大きい体育館に驚いていました。

海岸に移動した児童たちは海水浴やバナナボートなどのマリントイレを満喫しました。夕食のバーベキューの際には、青年団によるエイサーが披露されました。

その後、バンガローでの宿泊やマリントイレでイチヤリパチヨーデー(一度会ったら皆兄弟)となつた児童たちは、大宜味村農村環境改善センターホールで寝泊まりするため、協力し合いながらダンボールハウス作りを行いました。

西会津での 再会を約束して

3日目は8時からお別れ式が行われ、西会津町交流団長五十嵐正彦教育長が「保護者の皆様も含め大変お世話になりました。この交流は児童たちにとって知見を広め、心の成長に資するものとなりました」と述べ、児童を代表し、五寧大陽さんが「2月には雪がたくさんある西会津で待っています」とあいさつしました。

大宜味村を後にした交流団は年間入場者数日本一の美ら海水族館を見学し、那覇市内国際通りを散策しました。



ダンボールのでっかいハウスを作るぞ!

最終日は平和について学習するため、南部戦跡を巡りました。

平和祈念公園では「平和の礎」に刻まれた全戦没者の氏名について、「平和の火」では灯について説明を受けました。また、「ひめゆりの塔」では慰霊碑に献花を行い「ひめゆり平和祈念資料館」では学徒の遺品や写真、生存者の証言映像から戦争の悲惨さや平和の大切さを感じていました。

参加した児童たちは豊かな人間性を育み、異文化に対する理解と平和の大切さなどを学び、ひと回り成長したようでした。

※1「大木」を意味する言葉
※2沖縄県北部の豊かな森

林が広がる地域



西中町民図書館 新刊オススメ本



『世界で最後の花』
[ジェームズ・サーバ 作]
[村上春樹 訳]
ポプラ社

第十二次世界大戦が起きた世界。文明は破壊され、町も都市も、森も林も消え去り、残された人間たちは、ただそのへんにぼんやり座りこむだけになってしまいます。ある日、ひとりの若い娘が最後の花を見つけ、若者ととともにその花に養分を与えると、花は元気を取り戻します。やがて花は増え、地上に森が戻ってきますが……。
第二次世界大戦開戦時(1939年)に描かれ、世界で読み継がれてきたロングセラーを村上春樹の新訳で復刊した作品です。ロシアによるウクライナ侵攻が解決しない今、この本を読んで平和と戦争について改めて考えてみてください。



『なるほど! ChatGPT活用術』
[マイカ 著]
技術評論社

『女性に不足しがちな栄養がしっかりとれる最強の献立レシピBOOK』
[廣田孝子 監修]
朝日新聞出版



『朝星夜星』
[朝井まかて 著]
PHP研究所

『カンヴァスの恋人たち』
[一色さゆり 著]
小学館



町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

今月は、佐藤悦美さん(出ヶ原)の作品です。

作品介绍

常にそばに置いて、見られる、使えるものを作ってみました。

① 衝立

桐板を2枚合わせて衝立にし、和紙を3枚重ねて貼り、出ヶ原の全景と円満寺観音堂の写真を印刷しました。縁取りにチリ入り和紙を貼ってみました。



② ティッシュケース

市販のティッシュケースに和紙を重ねて貼り、取り出し口の周囲にチリ入り和紙を貼ってアクセントを付けてみました。



和紙の魅力である優しさと温かみを感じられる作品を考えてみたいです。

新郷地区、4年ぶりに体育祭を開催

8月27日(日)、第55回新郷地区町民体育祭を新郷体育館で開催しました。競技種目に「ボッチャ」を新たに加え、参加した5チーム約200人が6種目で競い合いました。

連日、熱中症警戒アラートが発令され、他の地区は開催を見送るなか、新郷地区は比較的涼しい体育館を会場として、競技の合間に休憩を入れ、水分補給をするなど熱中症対策をして競技を行いました。

競技やチーム応援など、4年ぶりの開催に参加者は盛り上がりました。



新競技 ボッチャ



狙いを定めて「輪投げ競争」



選手宣誓・豊洲Bチーム



とにかく玉数を「荒稼ぎ玉入れ合戦」



どれが当たりかな? 「宝さがし」



慎重に急いで「縄ないリレー」

【結果】

◎優勝
豊洲Aチーム

準優勝
富士Bチーム

3位
豊洲Bチーム

自然探勝講座で 桧原湖畔を散策



▲もりの案内人から草木の説明を受ける受講生



▲裏磐梯サイトステーションで記念撮影

8月29日に自然探勝講座を開催し、桧原湖畔の探勝路を散策しました。

当日は受講生11人が参加し、まず裏磐梯高原駅で開講式を行いました。その後、長峯舟付から探勝路に入り、もりの案内人2名に現地に生息している草木の説明をしてもらいながら自然の中を散策しました。

裏磐梯サイトステーションへ到着後、参加した全員で写真を撮影し、現地を後にしました。



お気軽に相談ください 秋の行政相談・人権相談を行います



10月16日から22日は「行政相談週間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情や意見、要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。気軽に相談ください。

- ◆行政相談委員 田崎宗作さん（小杉山）
- ◆人権擁護委員 長澤文子さん（芝草）、
貝沼利則さん（呼賀）、
長谷川成博さん（梨平）

- ◎10月18日（水）
午前9時30分～正午 新郷連絡所
午後1時～3時30分 奥川みらい交流館
- ◎10月19日（木）
午前9時30分～正午 保健センター
午後1時～3時30分 町役場（第1委員会室）

〈問い合わせ先〉
(行政相談) 総務課 行政管理係 ☎45-2211
(人権相談) 町民税務課 町民生活係 ☎45-2215

毎月めくるのが楽しみになる写真を載せてみませんか？ 町民健康カレンダーの写真を募集します！

令和6年度版・町民健康カレンダーに掲載する写真を募集します。町の誇れる場所や風景などの写真をカレンダーに載せてみませんか。ぜひ応募ください。

◆募集する写真のテーマ

『日本の田舎、西会津町。』

◆募集する写真

- 町内の個人（団体）が撮影・制作した作品で、カラーとする
- デジタルカメラや携帯電話、スマートフォンなどで撮影したJPEGデータ、またはすでに現像、プリントした写真（2L判以上）。

◆応募方法

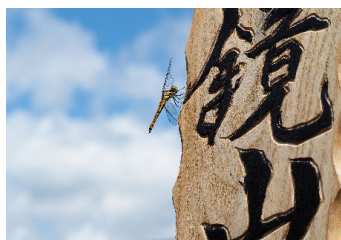
- 町役場総務課総務係または奥川支所まで、写真とともに「住所」「氏名」「連絡先」「作品のタイトル」「撮影場所（風景などの場合）」「簡単な説明」を添えて、メール、郵送または直接持参ください。
- 応募は1人（1団体）5点以内とします。

◆応募締切

10月13日（金）

〈問い合わせ先〉

町役場奥川支所
☎49-2001
✉okugawa@town.nishiaizu.fukushima.jp



▲令和5年版より

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



徴収率のさらなる増加を目指して 個人県民税優良町村知事感謝状が贈呈されました

個人県民税優良町村として知事から西会津町へ感謝状が贈られました。贈呈式は8月23日に町役場で行われ、本田伸雄会津地方振興局長から薄町長へ感謝状が手渡されました。

県では毎年、納税について功績のあった個人、団体などに感謝状を贈呈しており、令和4年度の個人県民税の徴収率は98.84%で令和3年度と比べ0.17ポイント増加していることなどが評価され、令和3年度以来2年ぶりの受賞となりました。



▲左から薄町長、本田会津地方振興局長

ご支援ありがとうございます 桃山会より寄付をいただきました

8月21日、桃山会普門連合会の生江克志さんと青木照夫さんが町役場を訪れ、7月16日に開催した第36回桃山会民謡カラオケ福祉チャリティーショーの益金と募金の一部を町に寄付しました。生江さんと青木さんは「町の社会福祉を充実させるために活用してください」と町社会福祉協議会の会長を務める薄町長に寄付金を手渡しました。



▲寄付を手渡す生江さん（写真中央）と青木さん（写真左）

町政発展に役立てて 株田代電機製作所より寄付をいただきました

8月22日、株式会社田代電機製作所の鈴木儀平社長が町役場を訪れ、創業50周年を記念した町への寄付金を薄町長に手渡しました。寄付を受け、薄町長は「温かいご支援をいただき、ありがとうございます。有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。なお、いただいた寄付金は、町政発展のために各種事業で活用します。



▲寄付を手渡す鈴木社長（写真左）



町民の福祉向上・健康増進を目的として 日本生命保険相互会社と包括連携協定を締結

町では、町民の福祉向上、地域の活性化などを図ることを目的に日本生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。8月30日に町役場で協定締結式が行われ、薄町長と高岡俊之郡山支社社長が協定書に署名しました。

協定の締結を契機に、健康増進や疾病予防、高齢者の介護・生きがい増進、児童・青少年の健全育成、文化・スポーツ振興など各分野での連携・協力を深め、官民共創のもと、将来にわたり持続可能な町を目指し、地域活性化と町民サービスの向上に努めて行くこととしています。



町長コラム その35



9月3日、第62回福島県芸術祭が会津風雅堂で開催された。町から西会津大山さゆり太鼓と作品展に出ケ原和紙が参加していることから、群岡・新郷地区の敬老会終了後、会場に向かった。西会津大山さゆり太鼓は、第二部「思いをつなぐ」に出場し2曲を演奏、躍動感に溢れた素晴らしい演奏であった。特に、小学6年生の星麟太郎君の大きなアクションとバチさばきは見事で一番目立っていてカッコ良く、大きく成長した姿を見せてもらった。

西会津大山さゆり太鼓の前身は、平成24年に「大山さゆり太鼓」として設立、県のサポート事業で太鼓を購入し、活動を開始、諸事情で翌25年に活動中止。平成29年に公民館講座として中学生を中心に活動再開、翌30年から一般町民にも拡大し、多い年で26人となり、奥川健康マラソンやふるさとまつりなど町内の各種イベントなどで積極的に披露し、会場を盛り上げてくれている。令和4年度より自主団体として活動。名称を「西会津大山さゆり太鼓」に変更し、会員数も小学生から70歳代まで25人、職種もさまざまで女性が14人と半数（56%）を占めているとのこと。週2回の練習で技術を磨きながら、年間約20近いイベントなどに出演している。今年の5月に東京で開催された「在京西会津会」で演奏し、4年ぶりの開催に花を添えてくれた。

町のPRや地域の活性化に大きな役割を担っている「西会津大山さゆり太鼓」。これからの活躍とさらなる進化を期待し、町もしっかりと応援していく考えである。

西会津町長 薄 友喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



10月26日(木)から
体育館展示がプレオープン!

西会津ふるさとまつり
第38回 西会津の文化と産業祭
10/28・29日 9:00-15:00 さゆり公園

◆10/28日(土) イベントタイムテーブル
9:00-12:00 文化祭開会式
10:00-10:30 民謡大会
11:00-11:30 さゆりラフ&ミュージックフェス
12:00-13:00 民謡大会
13:00-14:00 民謡大会
14:00-15:00 民謡大会

◆10/29日(日) イベントタイムテーブル
9:00-10:00 にしあいづ紅葉ウォーク
10:00-10:30 民謡大会
11:00-11:30 さゆりラフ&ミュージックフェス
12:00-13:00 民謡大会
13:00-14:00 民謡大会
14:00-15:00 民謡大会

【メインステージイベント】

- ◆10月28日(土)
9:00~ オープニングセレモニー
10:00~ 民俗芸能と民謡の集い
11:00~ さゆりラフ&ミュージックフェス2023
- ◆10月29日(日)
9:00~ にしあいづ紅葉ウォーク (共催:第14回いきいき健康ウォークin西会津) **参加者募集!**
9:35~ のりちゃん歌謡ショー **New!**
10:00~ 丞神デナー SHOW!! (1回目)
10:45~ 大道芸パフォーマンスショー **New!**
11:30~ 第24回桐ゲタ投げ全国大会
13:00~ 丞神デナー SHOW!! (2回目)
13:30~ 福島レッドホープスファン感謝祭
14:30~ 西会津ふるさと大抽選会

【メインステージ以外のイベント】

- ◆両日開催
10:00~ N-トレジャーハント、ミニSL、eスポーツ体験コーナー
ストライダー体験会&タイムトライアル
- ◆10月29日(日)
9:00~ なつかし car ショー 2023 番外編
ドレスアップカー展示 **New!** **参加者募集!**
10:00~ 福島レッドホープス野球教室
※詳細は配布されるチラシを確認ください。

第38回を数える秋の恒例イベント「西会津ふるさとまつり」が10月28日、29日に開催されます。

恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」、「にしあいづ紅葉ウォーク」をはじめ、昨年、大好評だった、よしもとお笑い芸人やアーティストによる笑いあひ音楽ありのライブステージ「さゆりラフ&ミュージックフェス2023」の他、バレンタインやマジックなどの「大道芸パフォーマンスショー」、スポーツ用品店「ムラサキスポーツ」による「ストライダー体験会」、なつかし car ショー 2023 の番外編として、アニメのキャラなどをあしらったドレスアップカー(通称・痛車)の展示など、見て、体験して楽しいイベントが盛りだくさんです。

また、西会津の秋の味覚が味わえる「農家レストラン」や「新そばまつり」、ジビエの魅力を味わえる試食会、さらには町内外からさまざまなグルメが出店コーナーに軒を連ねます。

西会津ふるさとまつりにぜひご来場ください。

〈問い合わせ先〉
町ふるさと振興推進委員会
事務局(商工観光課内)
☎45-2213
FAX 45-2241

10月28日、29日は「西会津ふるさとまつり」

西会津町の秋の「楽しみ」がぎゅっと詰まった2日間



“西会津町消費再生商品券”を配付します

町では、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けた生活などの個人消費の再生と町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり 5,000 円の「西会津町消費再生商品券」を配付します。

西会津町消費再生商品券（見本）



▲オレンジ色が地元店舗専用券。3,000円分を配付



▲水色が共通券。2,000円分を配付

◆商品券について

世帯主宛てに世帯人数分の商品券を送付します。

◆基準日

令和5年8月1日に西会津町に住民票がある人が対象です。8月2日以降に転入、出生した人は対象になりませんので注意してください。

◆配付時期

ゆうパックで9月中旬から配付するため、地区や家庭により配付時期が異なります。「近所が届いているのに、まだ自分には届いていない」ということもありますので、あらかじめご了承ください。

◆利用期限について

令和5年12月31日（日）まで

◆利用できる事業所について

- 同封している「西会津町消費再生商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。
- 利用できる事業所などには「西会津町消費再生商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。
- 今後、事業所情報に変更される場合は随時ケーブルテレビのデータ放送や町ホームページなどでお知らせします。
- 商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津町商工会に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

- ◎商品券の取扱全般、取扱事業者について
町商工会 ☎45-32335
- ◎商品券事業全般、配達関係について
商工観光課 商工観光係 ☎45-2213

エネルギー価格高騰の影響を受けている町内事業者を支援します！

町では、エネルギー価格高騰の影響を受けている町内事業者を支援するため、補助金を交付します。

◆対象者

町内業者

◆対象経費

業務を行う上で使用した「電気」や「燃料（重油やガソリンなど）」にかかる経費

◆補助要件

町内業者「令和5年1月～6月までの任意の4か月の合計額」から「令和2年～令和4年の任意の同月の合計額」を差し引いた金額が2万円以上であること。

◆補助率

2分の1

◆補助金額

下限1万円～上限100万円

◆申請期限

令和5年10月31日まで【期限厳守】

※詳しくは下記まで問い合わせください。

〈申請・問い合わせ先〉

町商工会 ☎45-32335

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
10月の放送案内

お知らせ
INFORMATION

運転免許証の
自主返納を
支援します

町では、車の運転に不安のある高齢者の運転免許証の自主返納を促進し、高齢運転者による交通事故の減少を図るため、運転免許証自主返納支援事業を実施しています。

◆対象者

○運転経歴証明書が発行された65歳以上の人
※運転経歴証明書は警察署で交付申請手続きを行っていただきます。運転免許の更新をせず失効した人も、運転経歴証明書が発行できます。

◆支援内容

町民バス回数券・タクシー利用券・町共通商品券の中から3万円相当。
支援を受けようとする場合は、左記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎45-2215



国民健康保険税の
軽減について

倒産や解雇、雇止めなどによる離職（非自発的失業者）に対する軽減
倒産や解雇などやむを得ない理由で離職された人は、申請により国保税が軽減される場合があります。

◆対象者

○離職日時点で65歳未満の人
○雇用保険の失業等給付を受ける人で、「雇用保険受給資格者証」の離職理由コードが、11、12、21、22、23、31、32、33、34のいずれかに該当する人

◆軽減の内容

国保税は前年度所得などを基に算定されますが、軽減に該当した場合は、離職者の前年度給与所得を3割に減額した額と見なして算定します。
◆軽減期間
離職した翌日から翌年度末まで
※なお、介護保険制度（福祉介護課 ☎45-2214）

国保の手続きは
済んでいますか？

や、後期高齢者医療制度（健康増進課 ☎45-4532）も同様の減免制度があります。詳しくは各担当まで問い合わせください。

〈申請・問い合わせ先〉

町民税務課 税務係
☎45-2212

職場の健康保険に加入または脱退した時は、14日以内に国保の変更手続きを行ってください。手続きは同世帯の家族でも可能です。
◆手続きが遅れると…
国保税が請求され続けたら、一度に納める税額が高額になる場合があります。また、国保の資格喪失後に誤って国保の保険証で医療機関を受診した場合、国保が負担した医療費を返還する必要があります。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎45-4532

ひとり親家庭の
医療費を助成

町では、18歳までの子どもがいる父子・母子家庭などに対し、所得に応じて医療費の一部を助成しています。受給資格の登録を希望する場合は、申請手続きが必要です。また、すでに登録済みで受給者証を持っている人には、町から更新手続きのお知らせが届きますので、申請期限までに手続きをしてください。申請書類などの詳細については問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎45-4532





聴覚障がい乳幼児
子育て相談
「みみちゃん教室」

言葉を育むには、早期からの楽しい関わりが大切です。県立聴覚支援学校会津校では、子どもの様子や相談内容に応じて、一緒に遊ぶ中で言葉やコミュニケーションづくりのお手伝いをします。相談は無料です。気軽に相談ください。

◆日時
月曜日～金曜日
午前9時～午後4時
(年末年始・祝日を除く)

◆場所
県立聴覚支援学校会津校内
「みみらんど・會津」

◆対象
聞こえや言葉に心配がある乳幼児とその保護者



ホームページ
はこちら▼

秋の農作業事故に
注意しましょう

秋の農作物の収穫時期を迎えています。農作業中の事故は、農作業機械を使用する際の不注意や、操作の誤りが原因で発生しています。ゆとりある計画的な作業を心掛け、事故防止に努めましょう。

◆次の点に注意しましょう
○安全確認を行い、誤操作を起さないよう注意を払い作業する

○ほ場への進入、脱出時、畦越え時は特に注意する
○道路を走行する際は安全な速度で移動する など

◆問い合わせ先
農林振興課 農政係
☎45-4531

クマの誘因物
管理のお願い

これからの時期は、冬眠するためのエサを求めて人里周辺にクマが出没する可能性が

会津学生寮
入寮生募集!

会津学生寮では、東京近郊の大学に就学する男子学生を対象に、令和6年度入寮生を募集します。

◆応募資格
①現在会津に居住しているか保護者等が会津出身であるなど、会津に縁があること。
②原則として4年制の大学に入学する人、または第2学年に進級する在学生。あるいはこれに準ずる人。
③心身ともに健康で共同生活のできる男子学生。

◆募集人員 15人程度

◆募集期間
令和6年1月11日(木)～2月2日(金)まで

◆申込・問い合わせ先
公益財団法人 会津学生寮

☎03-3947-0325



▲会津学生寮
ホームページは
こちら

消費税の
インボイス制度
説明会について

喜多方税務署では、事業者向けの「インボイス制度説明会」や登録の要否を検討している人向けの「登録要否相談会」(個別相談)を開催しています。

説明会は、事前予約制です。ので、参加希望者は申込先まで問い合わせください。各回とも定員になり次第、受付を終了します。

◆日時
10月19日(木)

○課税事業者向け
午前10時～正午

○免税事業者向け
午後1時30分～3時30分

◆定員
各回20人

◆会場
喜多方税務署 2階会議室

◆申込・問い合わせ先
喜多方税務署 調査部門

☎0241-24-5057

農林水産物緊急時
モニタリング事業
を実施します

県では、山菜・野生キノコの出荷制限解除に向けた取り組みの一環として、次により町内で検体の探索と採取を計画しています。

期間中は県から委託を受けた業者が山に入り、山菜や野生キノコを探索、採取しますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆採取予定期間
令和5年12月まで

◆対象品目
ナラタケ、ヒラタケ、ブナハリタケ

◆採取量
基本的に町内全域から満遍なく採取し、1検体当たり500gから1000g程度

◆問い合わせ先
県会津農林事務所
森林林業部 林業課

☎0241-24-5734
町農林振興課 林政係

☎45-4531

不正軽油撲滅
強化月間

県では、毎年10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体などと協力して、不正軽油の排除に取り組んでいます。

軽油に課税される軽油取引税を脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売・使用されている事例が発生しています。

◆不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない
不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆さんの協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供については、左記まで連絡ください。

◆連絡・問い合わせ先
(県庁税務課)
不正軽油ホットライン
☎024-521-7205
会津地方振興局県税部
☎0242-29-5264

3R(スリーアール)
推進月間

国では、循環型社会の構築に向け3R(スリーアール)の取り組みを推進しており、10月はその推進月間です。限りある資源を未来の世代につないでいくため、買い過ぎを控える、物を大切に使うなど、日々の生活を見直してみませんか。

◆3R(スリーアール)とは



リデュース(ごみの発生や資源の消費を減らすこと)



リユース(物や資源を繰り返し使うこと)



リサイクル(資源として再び使うこと)

◆問い合わせ先

町民税務課 町民生活係
☎45-2215

自慢の米を大募集!
「第10回記念大会 西会津一うまい米コンテスト」

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信を通じ、町内産米の知名度向上と販売強化につなげるため、今年も「西会津一うまい米コンテスト」を開催します。

今大会は10回目を迎え、節目の年となるため記念大会とします。

手塩にかけて育てた自慢の米をぜひ出品してください。

◆部門

- ◎コシヒカリ部門=町内産コシヒカリ
- ◎こだわりの品種部門=上記以外の町内産米

◆出品方法

参加申込書および出品する玄米500g²(約3合)を10月12日(木)までに農林振興課へ提出

◆審査方法

◎一次審査

食味計と整粒検査で測定し、上位5点が二次審査へ進みます。5点に選ばれた場合、同じほ場の玄米5kgを提供してもらいます。「こだわりの品種部門」は最上位に選ばれた米を奨励賞として二次審査は行いません。

◎二次審査

食味値上位5点の米を審査員が実食し、最優秀賞1点、特別審査員賞1点、優秀賞3点を決定します。

◆申込・問い合わせ先

農林振興課 農政係 ☎45-4531



里親入門講座
を開催します

毎年10月は里親月間です。里親についての理解を図り、里親になってもらえる人を募集しています。

会津児童相談所では、「里親入門講座」を次のとおり開催します。本講座では、地域の子育て支援のひとつである「里親」についての講義や体験談を聞くことができます。

参加は無料で、事前に電話などによる申し込みが必要です。詳しくは左記まで問い合わせください。

◆日時

10月24日（火）

午前10時～11時30分

◆会場

ピカリンホール（会津若松市役所北会津支所内）

◆申込期限

10月17日（火）

〈申込・問い合わせ先〉

会津児童相談所

☎0242-23-1400

消防フェスティバル
を開催します

喜多方消防本部では、第19回消防フェスティバルを開催します。

防災・消防に関するさまざまな体験ができますのでぜひご参加ください。

◆日時

10月8日（日）

午前9時～12時30分

喜多方市立第一こども園 火パレード

午前8時30分から

◆場所

喜多方消防本部敷地及び訓練棟（雨天時は消防署車庫及び訓練棟）

〈問い合わせ先〉

喜多方市消防本部予防課

☎0241-22-6213



スマートフォン教室を開催します

総務省デジタル活用支援推進事業の一環として、スマートフォンの基本操作などを学ぶスマホ教室を開催します。

時間単位でも1日だけの参加でも歓迎です。

※参加費は無料ですが、事前に申し込みが必要です

- ◆対象者：どなたでも参加できます。（スマートフォンを所有していない人には貸出します）
- ◆定員：各会場 10人（先着受付順）



会場：旧群岡中学校

会場：にぎわい番所ぷらっと（旧野口燃料）

第1回 10月23日（月）

午前の部 午前10時～12時

基本操作・画面の見方・カメラの使い方

午後の部 午後1時～4時

アプリのインストール方法・地図アプリの使い方・インターネットの使い方・注意点など

第2回 10月24日（火）

午前の部 午前10時～12時

地図アプリの使い方・インターネットの使い方・注意点など

午後の部 午後1時～4時

LINEの使い方・個別自由相談会

第1回 11月8日（水）

午前の部 午前10時～12時

安全に使うポイント・インターネットの使い方・注意点など

午後の部 午後1時～4時

マイナポータル活用法・その他便利な機能の紹介

第2回 11月9日（木）

午前の部 午前10時～12時

SNSの利用方法・LINEの使い方・注意点など

午後の部 午後1時～4時

地図アプリの使い方・個別自由相談会

主催：西会津町企画情報課、(株)エヌ・エス・シー

〈参加申込・問い合わせ先〉

(株)エヌ・エス・シー ☎0242-23-7771

申込期間：各開催日の前日まで

受付時間：午前10時～午後5時



県赤十字血液センター会津出張所の 紺野所長に聞く

命を救う献血にご協力ください！



今回は「献血」について、福島県赤十字血液センター会津出張所の紺野所長にインタビューしました。

県赤十字血液センター会津出張所
こんの ゆきひろ
紺野 恭宏 所長

健康増進課 健康支援係
いしかわ こうや
石川 皓也 副主査



※ …紺野所長 …石川副主査

私たちが献血した血液はどのような人に届けられているのでしょうか？

出血を伴うけがや手術により輸血を必要としている人や、正常な血液を作ることのできない白血病などの血液の病気や抗がん剤による治療をしているがん患者さんに届けられています。輸血を行っている病院は全国に1万施設、患者さんは年間100万人以上います。

現在、血液の機能を完全に代替できる手段は存在しないため、医療において輸血は欠かすことのできない治療法です。また、血液は生きた細胞が含まれているため献血してから輸血に使用できる期間が限られています。そのため、皆さんの協力により必要な血液を常に確保し続けなければ現代医療は成り立たないのです。

病気の治療にも使用されていることが分かると、献血をより身近に感じますね。健康な人が献血に取り組む意味は大きいと感じました。

災害や病気はいつ自分に降りかかるか分かりません。また、献血は少し痛いですが必要としている人のためであり心の充足感も得られるのではないのでしょうか。献血バスを見かけたらぜひご協力をお願いいたします。



▲献血バス



県赤十字血液センターのホームページはこちら

町では10月29日（日）の西会津ふるさとまつりで献血を実施予定です。皆様のご協力をお願いします。

献血に協力した皆さんの声



かんの なぎさ
菅野 凪沙 さん

母がよく献血をしていたので、私もやってみようと思い、お手伝いさせていただきました。痛みが弱いため、最初はとても緊張しましたが、大きな痛みはなく、また看護師さんが優しく声をかけてくださるので安心して献血することができました。記念品がたくさんもらえるのも嬉しいポイントです。



えがわ まさき
江川 正樹 さん

献血は、輸血を必要としている患者さんの命を救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供する「ボランティア」です。私なんかでも、人の役に立てる、それが「献血」です。人の役に立てるような生き方をしていきたい。私の中で献血は、「使命」として位置づけています。生涯続けていく所存です。

戸籍の窓口 (8月受付分)

■ まちの人口

	9月1日現在	(前月比)
人口	5,597人	(-5人)
男	2,734人	(-4人)
女	2,863人	(-1人)
世帯	2,528世帯	(-2世帯)

■ お誕生おめでとう

渡部 ^{はやて} 颯天くん 脩斗・穂乃香 上小島

佐藤 ^{てん} 天ちゃん 孝哉・舞子 芝草

■ お悔やみ申し上げます

上野	クラ	(88)	正明	母	4町内
山本	文男	(74)	タツ子	夫	7町内
佐藤	富雄	(92)	正光	父	下小島
佐藤	淳	(47)	厚	兄	向原
鈴木	良男	(86)	玲子	父	向原



出ヶ原にある伊豆原山神社 (令和5年9月撮影)

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・バレー部部長]

いわはら いぶき
岩原 依吹 さん

◆私の夢——

私の将来の夢は、まだ確実には決まっていますが、保育士になりたいと思っています。そう思うようになったきっかけは、お母さんが保育士なので、私もお母さんのような保育士になりたいと思ったことと、子どもが好きだからです。

なんでもできる保育士になりたいと思っています。

◆努力していること——

周りを見て行動し、何事にも全力で取り組んでいます。

◆未来の自分に一言——

理想の自分になれていますか？ちゃんと周りを見て行動できていますか？

理想の自分になれなくても、何事にも全力で諦めずに頑張ってください。

Person

町民バトンタッチ

すずき ゆうき
鈴木 裕紀 さん [8町内]

◆趣味

仲間とお酒を飲むこと

◆特技は？

サッカー

◆熱中していることは？

子どものスポ少についていく

◆自分を一言で表現すると？

明るい

◆あなたのモットーは？

為せば成る

◆最近感動したことは？

子どもの運動会で子ども達が一生懸命走っている姿を見た時

◆これからやってみたいことは？

家族旅行

◆次の方を紹介してください

K・Tさん

とっておきの物は？

とっておきの子ども達と、共に汗を流し目標に向かって頑張れる仲間たちです。



古侯 敦さん (9月号) からメッセージ

また楽しく飲みましょう！！



Column

協力隊リレーコラム

任期3年目を迎えて

お世話になります。有害鳥獣対策担当として着任し、おかげさまで3年目を迎えることができました。昨年度より罠による猪駆除を本格的に始め、一定数を捕獲できたものの、後手に回ったケースが多く、被害抑止に至ったとは言いがたい結果でしたので、本年度はこれまで得た経験を基に、町猟友会メンバーと協働で戦略的な実践を行なっています。河川や沢沿いを移動する獣の基本特性を念頭に、一箇所のほ場のみに注視するのではなく、被害箇所を結ぶラインを一つと捉え、動向を把握し、罠を展開した結果、4月から9月上旬の間で、あるライン上においては8頭の猪を捕獲できました。しかしながら、ほ場への侵入は発生してしまっているため、環境整備・防御とのバランスを考慮しながら引き続き駆除活動に努めていきます。



こやま たけし
児山 武士 隊員

東京都出身。休日も罠の見回りや痕跡を確認しています。後部ドアに「さすけねえ輪」ステッカーを貼ったジムニーが目印です。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その78

文：田崎 敬修

いにしえよりずっと重要だった

「野沢のある場所」

野沢にはあまり目立たないのですが、中世の昔から長い間空き地となることなく重要な建物が建っていた場所があります。それは、現在の「西会津町役場」の場所です。

横町の熊野神社に伝わる古文書によると、芝草の中野川沿いにある前山周辺に散在していた人々が大永2年（1522）に芝草の小屋田にあった熊野神社を現在の地に移して鬼門の鎮護とし、集落の名を「野沢」と決めて町割りをしたそうです。伝承によれば、その町割りより前の嘉元元年（1303）にはすでに地頭・荒井あらい信濃守しのののかみよりとう頼任よりとうがあまり人家のなかったと思われるこの地に「荒井館」を建てて住んでおり、館には代々荒井氏の子孫が住んでいたそうです。その後、何かの理由で荒井氏が他の地に移ったのでしょうか。この館に当時、会津の盟主だった芦名盛氏に反旗ひるがえを翻した大槻太郎左衛門おおつきたろうざえもんが野沢本町村の大槻館（現在の遍照寺）から移り、天正6年（1578）まで住んでいたようです。

江戸時代になると、会津松平初代藩主保科正之ほしなまさゆきの「お茶屋屋敷（本陣）」が建てられます。享保6年（1721）には「御本陣」と名称が変更されますが、寛政2年（1790）には原町（現町営駐車場付近）に新築移転となります。お茶屋屋敷の跡地には「社倉しゃそう（飢饉などのために米を備蓄する倉）、郷倉ごうくら（年貢米を一時保管する倉）」がありましたが、いつからあったのかははっきりしません。社倉・郷倉と並立する形で常楽寺脇にあった「野沢代官所」が文化7年（1810）以降、当地に移転します。

明治になると、明治元年（1868）から同2年まで同所に「野沢民政局」が開設されます。さらに明治5年（1872）、旧本陣宅の一部を使って開校した野沢小学校が同10年（1877）郷倉に移転し、その後、平成23年（2011）まで長期にわたり「野沢小学校」の地となります。

平成24年（2012）に同校校舎は町内5つの小学校が統合して「西会津小学校」になり、平成27年（2015）、森野の現在地に新築移転しました。そして、平成30年（2018）、小学校跡地に現在の「役場庁舎」が改築移転したのです。

（参考文献『西会津町』）



野沢小学校（明治45年撮影）



今月の表紙

今月は、9月10日に奥川みらい交流館で行われた奥川地区の敬老会から。マスク越しに微笑む佐藤利江さんです。来年は全員がマスクなしで会えるようになることを楽しみにしています。

（2ページから関連記事）

編集後記

今回、町民ギャラリーの撮影に協力いただいた佐藤さんの作品に出ケ原の風景と円満寺観音堂の写真が載っていました。撮影場所のすぐ近くに円満寺観音堂があるということで、帰りに行ってみました。整った茅葺屋根がかっこよく、国重要文化財にもなっている貴重な仏堂の姿に圧倒されました。（伊藤）

